



学 校 便 り

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashidai/>

10月号

横浜市立東台小学校

電話 (571) 0812

令和元年 9月30日



実りの裏側

副校長 高山 和宣

昔の人は、「天高く馬肥ゆる秋」といい、秋の食物の豊富さと季節の美しさを賞揚し感謝の気持ちを表しました。子どもたちの周りにも柿や栗、サツマイモ等が出回り、おいしい食物が溢れています。本校でも、栄養教諭を中心に進めている食育の観点から明日サツマイモのさつまいも汁と10月10日にサツマイモと栗の甘煮を子どもたちに出します。栗は実を付けるまで3年間以上、また、柿は8年以上かかると言われています。それは栗や柿は実を付けるために樹の幹や枝、葉等に養分をつくり蓄積する必要があるからだそうです。小学校6年間、中学校3年間、さらに高校・大学等で勉強を続ける人もいますが、その間にたっぷりと養分を蓄えて素晴らしい実を付けて欲しいと願っています。

毎日がんばっている勉強や運動、あるいは友達や様々な人との交流はその時の花になるだけでなく、栄養となり将来にも幸福という果実に繋がるにちがいありません。

さて、現在日本ではラグビーワールドカップが行われています。連日繰り広げられている熱戦は、まさにこれまでの努力の賜ですが、実はワールドカップは選手だけでなく裏方さんもたくさんの努力をしています。飲食やパーキング、インフォメーション或いは清掃など様々な活動を様々な場所で、総勢1万3000人のボランティアスタッフが大会を成功させようと日夜努力をしています。大会の成功にはボランティアの皆様の働きが必要不可欠です。

実は東台小学校もこれになぞられます。先日9月24日に学校運営協議会があり委員の皆様が学校をよくするために熱心に話し合ってくださいました。この他にもまちとともに歩む学校づくり懇話会や登下校の見守り隊の皆様、読み聞かせの皆様、そして年間を通してあらゆるところで子どもたちを支えてくださるPTAの皆様をはじめ本当に数多くの方に温かく支えられています。

この秋も、子どもたちが多くの皆様に大切にされながら学校生活を送っていることに感謝をしながら、生き生きとした活動を通してたくさんの果実を獲得できるようチーム東台小として取り組んでまいります。

スクールソーシャルワーカーのお知らせ

学校生活あんしんダイヤル 045-663-1370

火 水 木 金曜日 9時から17時まで

悩みがあるとき、どうしたらよいか電話で相談できる機関です。スクールソーシャルワーカーと一緒に考えます。 児童、保護者どちらからでも電話できます。